

学校教育に関する意識調査の実施について

1 本市の教育について

現在、本市の道標である学校教育レベルアッププランでは、児童生徒の「自律性」、「協働性」、「創造性」の資質の育成を目指し、GIGA スクール、外国語教育、理数教育、一校一和文化教育、小中一貫・接続教育、コミュニティ・スクール等の推進にかかる事業を展開することで、校長を中心とした特色ある学校づくりを進めている。

令和3年度に福富小中学校、令和4年度に志和小中学校、河内小中学校の小中一貫校を開校し、地域の伝統・文化や自然を大切にしながら地域と連携した教育内容の充実を図っている。福富小中学校では、「異学年交流の推進」、「探究的な学習の推進」、志和小中学校では、「eSTEAM 教育の確立」、「地域資源を活用した学習」、河内小中学校では、「地域創生プロジェクトの確立」、「遠隔授業の実施」等を中心に取り組み、地域性を生かした特色ある学校づくりを推進している。

2 調査の概要

(1) 調査目的

第5次学校教育レベルアッププランの事業に対する保護者の興味・関心等を把握し、今後の事業展開の参考とするために意識調査を行う。

(2) 調査方法等

保護者を対象とする。

市立小中学校

調査対象	市立小学校32校、市立中学校14校（もみじ小中学校を除く）の保護者
調査方法	CRM を利用したアンケート回答方式
調査時期	8月中旬～

市立幼稚園等

調査対象	令和5年度就学児「市立幼稚園、市立保育所、市立認定こども園」の保護者
調査方法	QR コード配付によるアンケート回答方式
調査時期	9月初旬～

3 調査内容

(1) 回答者の属性

- ・子どもが通う学校名・幼稚園等名
- ・学年（兄弟・姉妹がいる場合は複数回答可）

(2) 学校教育において興味・関心がある内容について

- ・タブレット等を活用した ICT 教育、外国人講師による外国語教育、一校一和文化教育、地域と連携した学習、部活動（中学校）等

(3) 小中一貫校について

- ・小中一貫校の認知度
- ・小中一貫校の特色ある教育内容への興味・関心